

総合計画ワークショップ「おいでやすカフェ」の開催結果

<日時>令和2年9月12日(土) 10:00~12:00

<場所>野洲市総合防災センター2階研修室

<参加者>11名(30代4名、40代2名、50代1名、60代以上4名)

<内容>

1.「10年後の野洲市にこうなっていてほしいと思うこと」「10年後の野洲市も変わらず守り続けてほしいと思うこと」等について、グループに分かれて意見交換を行いました。テーブル1は「子育て、生涯学習、教育、人権、福祉、生活、健康づくり」をテーマに、テーブル2は「観光、産業、歴史文化、環境、都市基盤整備、防災、財政行政経営」をテーマに話をし、時間が来たらテーマを交換することで、全体で意見を共有しました。



<主な意見(一部を抜粋)>

○子育て・教育・人権

子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てできるように、「みんなで子育て」の環境づくりが必要 ・五感を育成できるような、規制のない自由な環境づくりが必要 ・野洲には田園と都市のバランスの良さがある ・子育てを通じたつながりがあり、安心して子育てができています
学校教育・生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・農業・IT企業・伝統的な祭り等、地域の強味を生かした多様な教育を展開してほしい ・大人が学びに興味を持てるよう、学習参加のハードルを下げる環境づくりが必要 ・図書館が充実している

人権	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人も、LGBT の人も住みやすいまちにする ・みんなが気持ちよく暮らせるまちにする
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

○福祉・生活

健康	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩が楽しいまち。歩く目的を作ることも必要 ・健康スポーツセンターを活用した健康づくり
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが孤立せず、役割を担っているまちにする ・年をとっても楽しめるまちにする ・障がいがある人を地域ぐるみで支援し、様々な活動を一緒に行う

○産業・観光・歴史文化

観光	<ul style="list-style-type: none"> ・あるものを生かした観光（琵琶湖、三上山、御神神社、兵主大社等） ・野洲には様々な資源があるが、身近すぎて生かされてない
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルオフィスの招致（ワーケーション）。空き地・空き家の活用 ・AI と一次産業の連携 ・ものづくり、田畑等、野洲は多くを生み出しているまちである
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の多くが歴史を語れるようなまちにする

○環境・都市計画・都市基盤整備

環境	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖を綺麗にする ・緑と青の自然豊かなまち。空気が綺麗。このまま守ってほしい
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会に対応した交通問題の解消（渋滞、歩行者保護） ・買い物が不便なところやバスの便が悪いところがある ・徒歩や自転車で動けるまちづくり
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・河川増水や道路冠水を IT 技術で検知する ・近所との顔が見える関係づくり。コミュニティがあるまち

○その他

- ・このまちから何かが生まれるようなまち
- ・まちを好きな人が多いまち
- ・個性的で魅力的なまち

2. 地域課題の解決法を考えるカードゲーム「メイキット」を行いました。参加者には「資源カード」をランダムに配布し、資源を活用した野洲市の課題解決に向けた提案をいただきました。様々な資源を集めることで解決に繋がることをゲームを通じて体験いただきました。



<前半に参加した市民の皆様から出た課題と、解決方法の提案>

【子育て環境の充実（子育て）】

- ・公園や図書館を充実させる
- ・コンビニよりも数が多い寺社仏閣のスペースを子育てに使う
- ・駅前スペースを子ども連れにやさしいものにし、バス・タクシーなどを充実させる

【大人も子どもも学ぶ（生涯学習）】

- ・子どもから高齢者まで参加できる「文化祭」を開催する
- ・銅鐸博物館を大人も楽しめるようなものにする
- ・「仕事」のマルシェを開催し、子どもも大人も野洲の産業を学ぶ
- ・参加できない人のために、ローカルテレビでその様子の中継する

【外国人の方々も住みやすく（人権）】

- ・外国人の方が気軽に相談できるような環境を商店街の人たちと作る
- ・市役所等で外国人のための相談日を作って、相談しやすいようにする

【観光で人が呼べるように（観光・産業）】

- ・歴史上の人物を市民が学び、アピールする
- ・自然や風景、景観を売りにして、ヘリコプターで観光する
- ・宿泊施設を誘致する

【琵琶湖を綺麗に（環境）】

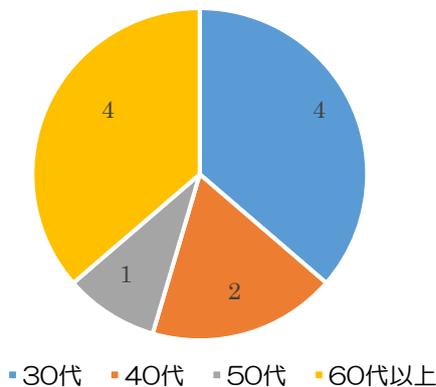
- ・大学の環境を専門にしている先生、社会起業家と一緒に取り組む
- ・環境系のハイテク企業に協力してもらう
- ・地元のタレントを起用してテレビに取り上げ、人が来るようにして皆で綺麗にする

3. ふりかえり

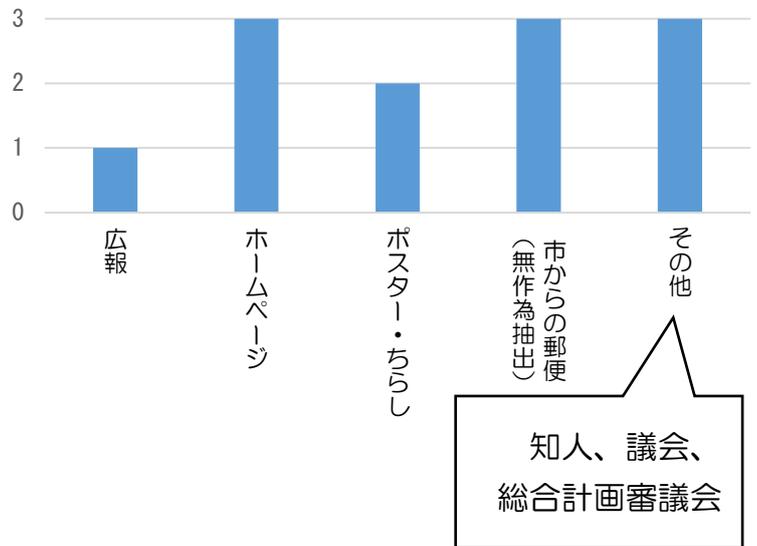
- ・市の人口維持（できれば増）が重要。そのために、市の魅力をどう作っていくか、自然、環境、生活のし易さ、人々の参加意識など、いろいろと考えていかなければ。
- ・年齢や環境によって感じていること、求めていることは多様だなと感じた。新しい視点を持って良かった。
- ・「みんなで」というのがキーワードになっている。ー福祉、生活、環境
- ・自分の頭が固いことを再認識。人の話を聞くことの必要性を再認識。
- ・多様な意見、面白い意見が多数あった。⇒これが実現して欲しい。良い意味でも悪い意味でも総花的になってしまう。資源が限られた中でどう野洲らしさを作っていくのか？
- ・住民の方々と話し合っ様々な思いを感じて良かった。
- ・野洲のことを野洲の人と喋ることって新鮮！！
- ・まちのいろいろな人と出会って、話したり、アイデアを出しあったりしてまちがつくられていく。
- ・未来への期待がありその方向に進むことを考えた。
- ・野洲は多様な資源がある。身近すぎて活かしていない。仕事をおこす場があればもっと面白くなるのでは。仕事を起こすハードルを下げてほしい。
- ・様々な年齢の方とお話をする機会はほとんどないので、自分にはない考えをたくさん持っておられ、なるほど！と思うことがいっぱいありました。意外な考えの方もおられ新鮮で楽しかったです。
- ・同じ野洲市民でもいろんな考えがある！

<参加者アンケートの結果>

1. 参加者の年代



2. 参加のきっかけ



3. ワークショップの感想

- ・多様な方の考えが知れた良かったです。
- ・幅広い年代、立場の方が参加されていていろんなご意見が伺えて良かったです。
- ・自分たちと違う環境の人の意見が聞けておもしろかったです。やはり人は皆違うという中で全体最適を模索していくには対話しかないのだなと再確認しました。
- ・参加する前は何を話せば良いのかとても緊張していましたが、皆さんの意見を聞いて、自分と同じような考えの方もいれば全く自分にはなかった考えも聞けて、まだまだ野洲の知らないことがたくさんあると思いました。
- ・とても楽しかったです。いろいろな人の意見をきくことができ、私も意見を出しやすい雰囲気にしていただき良かったです。
- ・多様な意見を聞いて良かった。
- ・多様な意見があることがわかりました。中にはビジネスにつながるアイデアもあるように思いました。これをどう対応するかが大切かもしれません。
- ・楽しく過ごすことができた。いろいろな意見・提案が聞けて良かった。
- ・住民の方々と話し合っ様々な思い、未来の姿を知って良かった。
- ・多様な意見が聞かれ、今後の参考にしたいと思った。
- ・若い人たちの発送はとても参考になった。10年後や取組、ほぼ皆の意見は同じ。逆に言えば、やるべきことは概ね決まっているとの感じがある。

4. ワークショップの改善点

- ・もっとカフェっぽくになるともっといいと思います。
- ・テーマが多くて考えることがたくさんありたいへんでした。慣れてくるとみんな自由に気にせず話すことができました。
- ・もっとたくさんの人に来てもらいたいと思うので集める手段が大切かなと。

- ひとつのテーマについて深く話せたらもっと考えが深まると思いました。
- 参加するかどうか迷いました。もっと気軽に参加できたり、どこかの集まりに出かけていってもいいかもしれません。
- このワークショップの今後の使われ方を明示してほしかった。目的は何か。
- ひとつのテーマに関しての討議時間が少なくて中途半端になった。もう少し時間が欲しかった。
- できれば、自治会をベースに子ども、大人、高齢者を入れて展開できればいいと思っています。
- 参加申込みの後の出席可能の連絡はもっと早くほしい。今回は前日でした。前日連絡は遅すぎる。他のスケジュールもあり。
- 担当者の話などは最小限に。

5. また参加したいと思われませんか。

参加したい 11

6. その他意見

- ありがとうございました。
- 今回のことや今後も市民の多様な意見が活かされていってほしいと思います。
- ぜひ複数回重ねてどんどんいいものにしていきましょう。
- 少しずつ皆が住みやすいまちになることを願っています。今日は貴重な時間をありがとうございました。
- 総合計画は市政の指針になるので、明るい未来となるように作っていただきたい。
- 野洲の地場産業で輸出できるもの、もしくはそういう企業があれば見出して支援した方がよいと思います。結果的に外貨を得るのも必要だと思います。
- 結構面白い内容（ワークショップ）なので事前の宣伝をもっと多くした方がよい。
- ビジョンに対してバックキャストで考えれば5年後、10年後のステップが分かるかも。
- こういう会を継続させ、一層充実させるために、参加者から出た意見に対し、市からフィードバックする。総合計画の参考にするといいことですがどのように参考にしたかを後日フィードバックすべき。これをしないと間違いなくしりすぼみになり、市民の意見を吸い上げられなくなる。よくある例。担当者は大変ですが、それを覚悟でこういう会を開催すべきです。気楽に、を取り違えないように。